

一からわかる再配置



公共施設の再配置に関連する基本的な情報をお知らせします。

丸一年たちました

一部の施設を除き、昨年12月末をもって新たな使用料での利用が始まって1年が経過しました。これまでの間、施設の管理所管課には、幾度となく細かな区分での使用料収入と利用件数の報告をお願いしてきましたが、御協力いただきました職員の皆様には、あらためてお礼を申し上げます。

では、平成30年度第1～3四半期における改定の影響はどうだったのでしょうか。簡単にまとめてみました。

思うように伸びず

下の表は、平成29年度と平成30年度の第1～3四半期における使用料収入と利用件数¹の変化を月別にまとめたものです。

使用料収入は、約2,165

【第1～3四半期における比較】

月	使用料(円)			利用件数		
	H29	H30	増減率	H29	H30	増減率
4月	11,239,162	14,747,300	31.2%	8,205	7,975	-2.8%
5月	11,793,020	15,233,062	29.2%	8,066	7,841	-2.8%
6月	11,960,175	15,506,558	29.7%	8,291	7,940	-4.2%
7月	16,138,840	17,977,045	11.4%	8,192	7,746	-5.4%
8月	16,582,705	18,202,520	9.8%	7,330	7,199	-1.8%
9月	10,829,160	13,146,080	21.4%	8,167	7,490	-8.3%
10月	10,960,189	13,726,433	25.2%	7,905	8,596	8.7%
11月	11,471,164	13,284,758	15.8%	8,089	8,442	4.4%
12月	9,539,235	10,342,834	8.4%	6,940	7,007	1.0%
計	110,513,650	132,166,590	19.6%	71,185	70,236	-1.3%

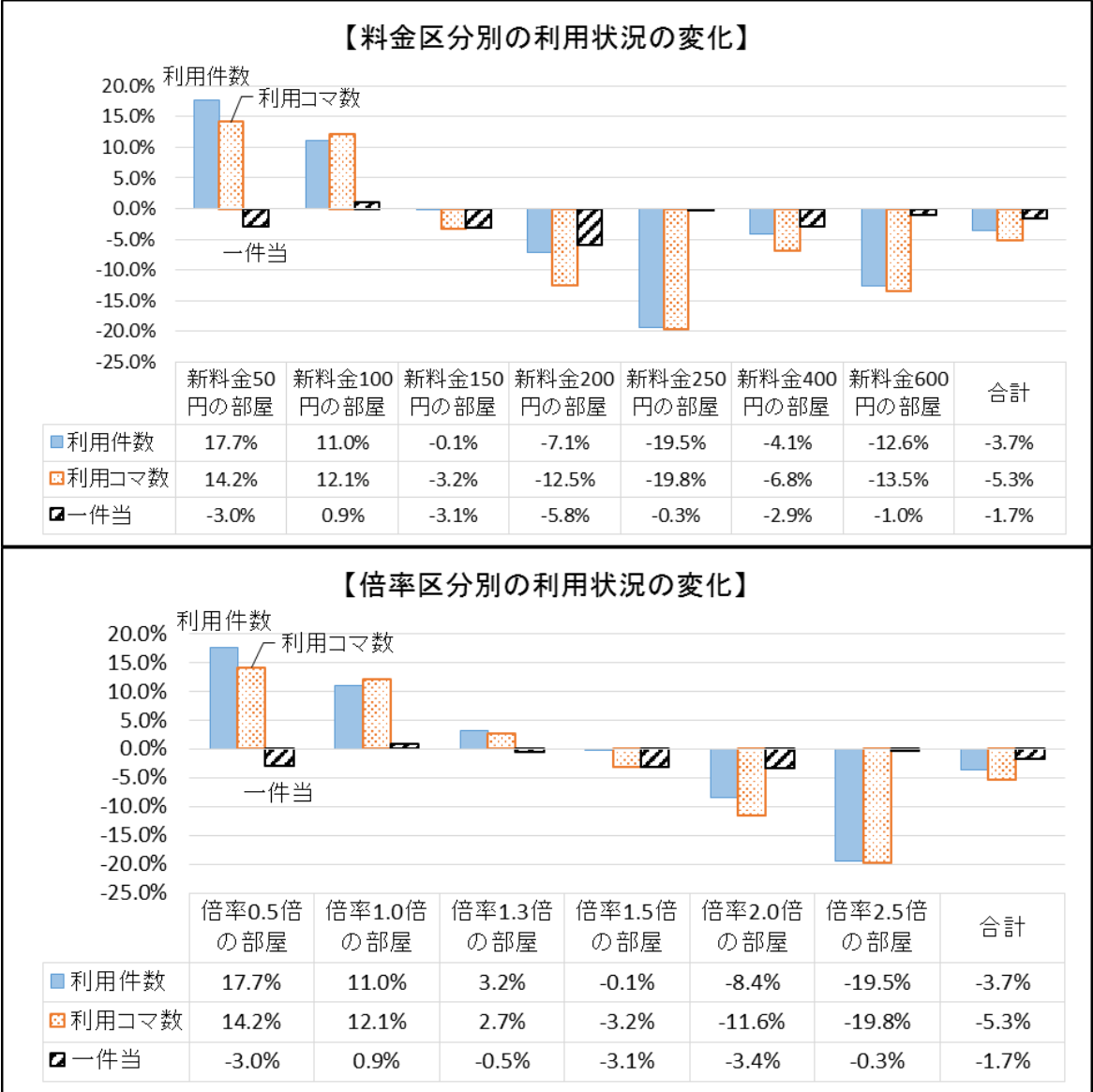
万円、19.6%の増となりました。これに対して利用件数は、949件、1.3%の減となっています。猛暑の影響や利用件数の減少もあり、思うほどの効果が現れていませんが、減少が続いていた利用件数は、10月から3か月連続で増加に転じています。今後、増収効果はより大きくなる可能性があります。

また、利用件数の4割近くを占める公民館を集計すると、使用料収入は、約675万円、38.2%の増と全体よりも高くなっていますが、利用件数は1,295件、4.7%の減と全体よりも低くなりました。これに加えて、利用時間にも変化が現れました。今回の改定では、今まで1時間単位で課金した会議室系の使用料について、30分単位での支払いを可能にしました。金額が2倍以上になった部屋も多くあります。1回の使用時間を3時間から2.5時間にするという例も出るであろうことは想定していましたが、影響については未知数でした。そこで、実際の変化を知るため、平成30年1月から3月の公民館の利用データ延べ約9,000件を前年と比較してみました。

¹ プールやトレーニングルーム等の個人利用及び文化会館の楽屋等を除く。

利用者の心理

下のグラフに示すとおり、全体では、利用件数は 3.7%減少し、利用コマ(時間)数は、5.3%減少しています。また一件当たりの利用コマ(時間)数は 1.7%減少し、件数だけではなく 1 回当たりの利用時間も減少したことがわかります²。さらには、料金別、改定倍率別に比較してみると、料金の高い部屋、改定倍率が高かった部屋が減少し、料金の安い部屋、改定倍率の低かった部屋は、逆に増えていることがわかります。他の施設も同様でしょう。



今回の改定では、部屋の大きさや古さによって、同じ性質の部屋でも施設ごとに異なる料金となりました。件数や時間の減少に加え、利用者が古い(安い)施設へ、より小さい部屋へと移動したことも、増収効果を低くしている要因の一つとなったことがわかります。今まで整理される機会の少なかったこうしたデータは、他の自治体にも貴重な資料になるのではないのでしょうか。

² 利用件数は、所管課からの報告数値。利用コマ数は、施設予約システムから抽出しています。また、東公民館を除く他の公民館は、平成 30 年 1 月の市長選挙の投票所としての利用件数 2 件、利用コマ数 37 コマを差し引いています。

